



一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト

2026年1月度 登録団体からの報告（抜粋）

（団体名など特定できそうなものは割愛しておりますのでご了承下さい）

【1月】お米配布家庭数：1,890家庭 お米配布人数：3,487名

①いつも本当にありがとうございます。

最近、ネグレクトの家庭の子供たちが食べに来て、帰りにお惣菜を持って帰ります。本当に笑顔が溢れて切ないですが、支援をしていきたいとおもいます。

②12月の子ども食堂のメニューは、マカロニグラタン・ポトフ・チキンナゲット・フルーツパフェでした。子ども達はとても慣れた手つきで料理を楽しんでおり、その上達ぶりには感心させられます。

ある児童養護施設の子ども達を対象としているのですが、施設職員の話だと、普段は大人1人が複数の子ども達の面倒を見ます。子ども一人ひとりからすると、もっと自分を見て欲しいと言う様子らしいのですが、この子ども食堂では大勢の大人がいる為、十分に子どもと向き合えることができ、子ども達も精神的に満足しているそうです。

またボランティアメンバーも高校生・大学生といった若手から、社会人・年配者まで多世代に渡っており、幅広い交流に一役買っていると思います。

③食事内容がこどもの好きな献立であり、嬉しい声が出せる環境が必要ですね、皆様に感謝です。

④ある家庭は、生活保護を受けお母さんと子ども4人で生活しています。

食材を届けに行ってもチャイムが無く、初めはおっかなびっくりでしたが、ドアをノックしてポストから呼びかけるとすぐに出てくるようになりました。「ありがとうございます」と言われるようになりました。

子ども食堂で配布の様子を見てもらうことで、食材を受け取ることを気にしなくてもいいんだと思ってもらうように配慮しました。

⑤今年もありがとうございました。

お米を子育て家庭に1kgずつ渡し、ひとり親家庭には2kg渡しました。今年もお米を頂くことができ、調理と別でお渡しすることもできて、お母さん方も喜ばれておりました。ありがとうございます！

インフルエンザや等の発熱で来場出来なかったお子さんが多かったのですが、マスク着用で換気をしながら開催しました。今月は市内の子育て機関のスタッフさんが来てくださり、子どもとの色々な遊び方のご提案があり、実際に体験しました。

今月は体調不良やご予約のある方が多く、ボランティアスタッフが少なかったのでいつもより20食減らして、ボランティアさんへの負担も軽減しました。支援してくださる方、ボランティアがいてはじめて私たちの子ども食堂が成立します。

今回、みかん農家さんのご厚意で10ケースのみかんをいただき、詰め放題を実施しました。初めて詰め放題を体験するお子さんもいたようです。親御さんもそれぞれ体験し、家族の多い方は袋にいっぱいでした！楽しく貴重な体験をさせて頂きました。

この先もご支援を宜しくお願い致します。

⑥高校1年だった時2～3回来た女子。当時はヘッドホンをして下を向き、コミュニケーションがほぼ取れなかった子が高校3年生となった12月にひょっこり来ました。

見違えるほど明るく元気でヘッドホンも取れ、小さい子と遊ぶ等ボランティアで自ら参加するよ

うになりました。運営者としてまずうちのこども食堂を思い出してくれて嬉しかった。こども食堂を継続することで彼女にとって戻れる居場所が存在していたこと。継続の価値を改めて確認できました。

継続できるのは、応援してくださる支援者様のおかげです。ありがとうございます。

⑦毎月お米をいただきありがとうございます。

現在は約3か月に1度、各家庭にお米を2キロずつ配布させていただいています。

⑧30人を目指して始めたお昼の食堂ですが、今回は44人もの方に集まってもらえました。

初めて来てくれた人も多く、未就園の小さなお子さんを連れのお母さんも、学校に行かない選択をした小中学生もたくさん来てくれて嬉しかったです。

小中学生は、小さなお子さん連れのご家庭のお手伝いを進んでしてくれました。参加者同士の交流もたくさんあって、とても良い雰囲気でした。

⑨最近、近所の高齢者の方々が声を掛け合って参加するようになりました。地域の独居老人の方は孤食にならずに笑顔で会食されます。

子ども食堂ならではの気安さが地域の繋がりに役立っていると思います。

⑩元参加者がボランティアとしてお手伝い頂くこととなりました。地域の輪が広がっており大変嬉しく思います。

これもひとえに、お米のご寄付を頂き安心して会を開催できることのお陰様です。ありがとうございます。

⑪1月23日にファミリー支援としましてフードパントリー開催しました。

冬休みもあり子供達に合わせた生活リズムで、仕事を休まざるを得ない方もいらっしやっただようので、フードパントリーがお役に立てた様です。今回は27組のファミリーを支援できました。シングルファミリーや多子世帯、単身のご高齢者などへ品物を繋げられました。

今回、初めての利用者に貴重なお話を聞かせていただきました。重い病気で病院に通っていて、毎月一定額の高額医療費がかかるらしく、削るのやはり食費なんだとか。病気を治すには食べて体力をつけないといけないのに、良いものは食べられない…お米は高いから買えないとの事でした。そんな方にこそご利用いただきたいのに、私より大変な方がいるでしょ？と言っていました。そんな立場の方を説得してご利用していただくまで、少し考えさせられる事案でした。

⑫当法人は子ども食堂の他、愛知県より生活困窮者自立相談支援事業、子どもの学習・生活支援事業、生活困窮者就労準備支援事業を受託しております。

今回ご協力いただきましたお米等は、前述の事業で支援中の子どもがいる世帯を中心に配布させていただいております。

主たる生計維持者が失業中の世帯や不安定な就労収入の世帯に対し、繋ぎとしての支援の一つとして食糧支援を実施しています。

⑬しばらく来ていなかった、小1と年少の女の子のシングルマザーの方が来られ、お米やレトルト食品を渡すことができました。風の強い寒い日でしたが、自転車で2人の子を乗せて20分くらいの距離を来てくれて、お米を持って帰る時、2人の女の子が自転車に乗ったままで転倒してしまいました。それを見たとき、シングルマザーの大変さが伝わってきました。幸いにも、子どもたちには怪我はありませんでしたが、物理的にもっと安心安全が確保できるといいと思いました。次回から、駐車場がある場所か私どもが車でお届けができればと思っています。

お米の高騰でどの家庭もお米を必要としていますが、幼いお子さんの育児真っ只中の切実な家庭を優先的に届けています。中には、十分な栄養をきちんとした食事で摂取できていないので、栄養がある玄米を希望している家庭も見受けられます。今後もこのようなお米の支援が続けていけたら嬉しいです。今後ともよろしくお願ひします。

⑭物価高騰の追い打ちにより、更に困窮度が増しているひとり親家庭に5キロのお米をを順番に配布しています。おかわりを良いよと言ってあげられる貴重なお米の御寄附に感動しています。お米の御寄附で笑顔が増えました、などのメッセージが届いています。

⑮食品ロスの一環として子ども食堂を開催しています。地域の子供達とも外で挨拶が出来るようになり、非常に良好な関係ができつつあります。しかし、まだまだ本当に必要としている家族に届いているのか疑問です。

ひとり親支援の方達とも連携を取りながら広くお弁当配布を行なっておりますが、話を聞くと、困っている家庭ほど声を出さないようで、届けたくても届けていない状況です。食材があるのに届けられない、そんな思いが葛藤します。ただ包装用材の消耗はコスト高になりつつあり、収益を圧迫し始めており、ここも悩みどころです。届けるために必要なお弁当容器を探しています。少しでも安く仕入れられるように。

ボランティアさんもタダ働きでは無いので、ガソリン代も含め困っている状況です。

⑯こども食堂を利用される方が増えており、予約枠が限られているのでお断りすることが多くなってきました。たくさんの方に利用していただきたい気持ちはありますが、現状、月に一度の開催が精一杯です。

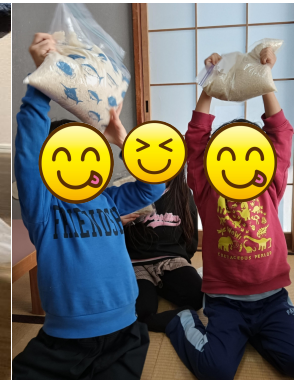
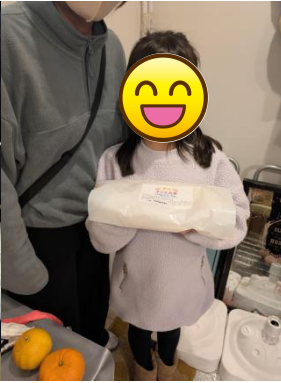
利用者数に応じて、いずれは開催日数を増やしたいと思っておりますが、ボランティアの確保や日程調整など、運営側が余裕をもって開催できる体制づくりを整えていくことが今の課題です。

⑰1月のメニューはお正月らしさを出して、鶏ミンチと白菜・舞茸の旨煮、大根なます、伊達巻、サラダにご飯と味噌汁、デザートは栗きんとんでした。

高齢者の参加者が毎月増えている状況です。今月は2名の小学生が子どもボランティアとして参加してくれて、中学生の先輩ボランティアさんがしっかり面倒をみてくれました。今月もボリュームたっぷりでご来場いただいた皆さんに喜んでいただきました。



(次頁へ続く)



あけましておめでどうございます。
今年もよろしくお願ひします。
パントリーのおかげで年末年始
食生活を送ることができました。
ありがとうございました。
クリスマスケーキ・とてもおいしく
子供がいっぱい食べました。
すこしく喜んでいました。
これからますます寒くなりますので
皆様お身体と心を付けてお過ごしください。